

小栗上野介情報89

ホームページHttp://tozenzi.csider.com/ Eメール:tozenji@clock.ocn.ne.jp



2024(令和6)年9月

発行:東善寺 住職 村上泰賢
群馬県高崎市倉渕町権田169
〒370-3401
Tel・fax:027-378-2230
〒振替00120-1-406206東善寺

小栗上野介と渋沢栄一

あの時小栗にはねられていたら

「あの時小栗上野介にはねられていたら、一万円札の渋沢栄一はなかつたでしょうねえ」と感慨を込めて電話で語ったのは、2018平成31年に、渋沢栄一記念館

(深谷市)に招かれて小栗上野介の講演を行なった時に世話をしてくれた深谷市の歴史研究家清水惣之助氏。講演の数ヶ月後に、渋沢栄一が一万円札に登場と発表があった直後に電話をくれての話。

「あの時」とはいつ、二人の間に何があったのか。

1868/パリ万博

【勘定奉行小栗上野介は、1867慶應三年十一月横浜へ出かけ、三十日に来年のパリ万博へ間もなく出発するため横浜で出発準備中の徳川昭武(将軍徳川慶喜の弟)に道中の無事を祈って出航前の挨拶をした。勘定奉行小栗はパリ万博の出品責任者である。昭武公への挨拶が終わった小栗の前に顔を出したのが、渋沢篤太夫(栄一)だった。渋沢は小栗に次のように挨拶した(以下意訳】

渋沢「今度昭武公の御渡仏に付きまして、会計・俗事係として随行する渋沢篤太夫でございます。将来共よろしく御願い申上げます。昭武公はパリ万博に御列席のあと5年間留学の予定です。最も心にかかるのは会計の事でして、よろしく御指導御高配願います」

小栗「いや丁重な御挨拶で恐縮です。しかしお前さんは5年も後のことを見越す柄があるまい。第一お前さんは討幕を企てた程の男、そんなことを心配するのはおかしい」

討幕を企てた男

【渋沢は水戸学の過激な攘夷思想にかぶれ、仲間と武器を集め赤城山に兵をあげ高崎城を乗っ取って武器を手に入れ、横浜へ進んで外国人を斬り殺し追い払う計画をたてた。実行寸前に京都から戻ったとこの渋沢長七郎が必死の説得をしたので取止め、露見を恐れて仲間は故郷血洗島村を出て各地に散った。そのまま実行していたら無謀なテロリストで終りかねない前歴があった。それを小栗上野介が知っていたのだ】

幕府の運命、日本の運命

突然でさすがの子爵(渋沢は子爵になっていた)もいささか面食らったが、何食わぬ顔で

渋沢「しかしそれは昔の話で御座います」

小栗「そう、昔には相違ないが、まだものの一年か二年しか経過して居らぬではないか…」

鋭鋒はすかさず迫る。

渋沢「ではございますが、只今では左様も考へて居りませぬ」どこまでも子爵が生真面目で居るので小栗も追及の鋒をおさめた。

小栗「いやそれは戯談である。とにかく今度の昭武公のご出発は眞にけっこうな事である。自分も心より喜んでいる。足下(お前さん)の事も承知致し居る(1)。足下の如き為すあるの士(2)が御補佐申上げることは重疊至極と思はれる。何卒十分御精励あるやう希望する。会計のことに付ては五年は愚か三年でも二年でも将来のことは全然分らぬが、然し病に倒れるか、身を退くかすれば分らぬこと、苟しくも不肖小栗が職に在る間は決して心配はかけぬから安心

して行くがよい。然し我々も幕府が何時いつ如何なるかは全然分らぬから一此点は敢て小栗が斯く憂慮するばかりでなく、皆人の齊ひとしく感ずる所であるが一或は生きて再び昭武公御健勝の御様子を拝することは出来ぬかも知れぬが、其時は其時で如何どうにかならう。決して心配することはいらぬ。然し幕府の運命に付ての覚悟(3)だけは聴ききめ置くことが必要であらう】

斯くて袂を分ったのが、小栗の斯言悲しくも事実となって一年ならずして彼の如き悲惨極まる末路を見たのであった。…以下略… 昭和5年3月7日 飛鳥山邸に病後の子爵を訪ひ閑談中に聞き得たる所を白石喜太郎憶記

【注】「足下の事も承知致し居る(1)」…お前さんのこともよく承知している。とは、次の二つの意味があろう。

①お前さんが国のことを見て立ち上がりようとした志の高い人物ということはわかった

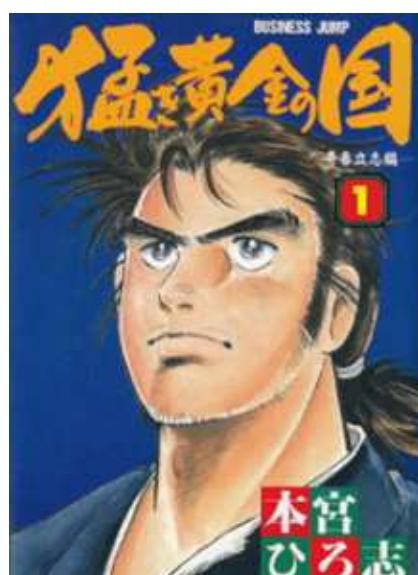
②とりあえず「凶器準備集合罪」は執行猶予中だ、随行の責務をしっかり果たさなかったら、前歴の責任を取らせるよ。しっかりとやれ、と釘を刺している

「為すあるの士(2)」…国(公)のために何事かをしようとする志の高い人物

「幕府の運命に付ての覚悟(3)」…小栗は幕末に「幕府の運命、日本の運命」という言葉をよく用いていた。最も知られているのは横須賀造船所建設設計画に対してある幕臣が「幕府の運命もなかなか難しい。これから造船所を造っても出来上がる頃には幕府はどうなっているかわからない」と言ったのに対し小栗は、「幕府の運命に限りがあるって日本は運命には限りがない」、更に続けて「いずれ土蔵付き売据えでいい」と笑っている。幕府が終わっても日本は続く。政権を母屋に例え、売家になっても門つき、塀付きなら価値がある。土蔵(横須賀造船所)付き売据え(居抜き物件)にしてやれば、いずれあの家の主が役に立てるだろう、という江戸っ子のシャレである。渋沢が後に経済も会社も私物化しない「公の心」を説いたことに共通する。

一万円札の顔

さすがに小栗は渋沢と一言、二言のやり取りで人物をつかみ、打ち解けた話に切り替えていた。「お前さんは危険人物だ、昭武公の隨行者として不適格!」とはねられていたら渋沢の人生も変わり、一万円札の顔は難しかったろう。晩年の渋沢が、人生で大事な場面だったと感慨深く側近の白石に語ったのである。小栗はさらにパリで見るべきもの、社会制度、これからの日本が目指すべきあれこれを遣米使節での渡米経験を混じえて渋沢に語ったと思われるが、そこまで記録されていないのが惜しい。



▲マンガ 本宮ひろ志『猛き黄金の国』は三菱の岩崎弥太郎物語だが、小栗の意図していたことを仕上げたのが渋沢栄一、とまとめている。

下田の玉泉寺 ハリス駐在の最初の領事館・下田市曹洞宗玉泉寺様で、市主催の下田開港170周年記念式典の後、村上文樹東堂が

「渋沢栄一が寺の復興支援に力を注いだ」を講演、村上泰賢が「小栗上野介と渋沢栄一が目指したもの」を講演。

最後に本堂前で「餅投げ」があって、子どもたちに大人の歓声が混じり、楽しいフィナーレとなつた。

2024令和6年6月30日



小栗上野介記念館 募金中 を建設したい

日本産業革命の地横須賀造船所を建設・
「日本海戦で勝利し、日本がロシアの属国に
ならなかつたのは小栗さんのおかげ」と
東郷平八郎が感謝/日本近代化の父の
業績を伝える記念館です。

建設費を募金中です

◆募 金 10 1万円 (1万円未満も歓迎します)

御礼 無料拝観券と粗品 完成後に発送

*下記クラウドファンディングの「リターン」と同じです

受付 ①東善寺窓口 でお受けするほか

口座 ②郵便振替口座 00120-1-406206 東善寺

振替用紙は郵便局窓口にあります。住所・氏名・電話
と小栗上野介記念館寄付、と記入して下さい

③群馬銀行 室田支店 普通 0398381 東善寺

*ご送金のあと、必ず電話・ハガキ・メールでご住所氏名
電話をお知らせ下さい

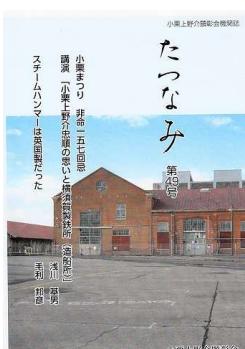


記念館のシンボル画像▲木村直巳画



小栗上野介顕彰会機関誌

たつなみ 49号 発刊 表紙はメア島の造船所



小栗まつり講演 「小栗上野介の思いと横須賀製鉄所（造船所）」早稲田大学名誉教授浅川基男／秋田で小栗上野介の講演会・遣米使節展 佐藤成孝／小栗上野介記念館建設林田会結成 講演会 村上泰賢／スチームハンマーは英國製だった 毛利邦彦／小栗上野介と渋沢栄一 村上泰賢／「島田弥七郎日記」の小栗上野介処刑・首級運送・権田村探索 中村茂／義烈の家臣池田傳三郎（一） 村上泰賢／中之条ビエンナーレ紅月劇団「Oguri - 小栗上野介 -」石倉正英／会員募集・顕彰のあゆみ・編集後記



▲講演 浅川基男氏

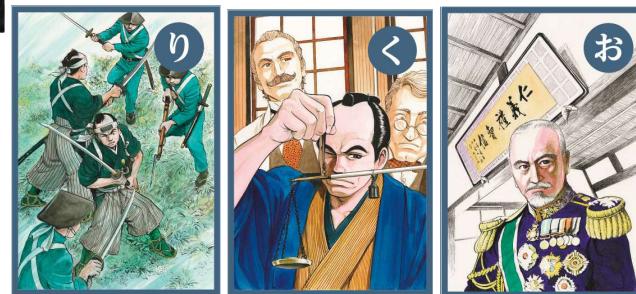
◆5月26日・小栗まつりから発売 開始

小栗かるた

沢山の方にご協力いただき「小栗かるた」が完成しました。

マンガ「天涯の武士」で小栗の生涯を描いた木村直巳先生の素晴らしい絵札がいい、と評判です。

役札は・「お」「く」「り」／「ほ」ま」「れ」



小栗かるたのルールに「役札」があり取った札にお・く・りあるいはほ・ま・れの3枚がそろえば点数が5点加点されます。

まず1枚1点で計算し、役札が揃っていたらプラス5点です。同点は「し」を取った人が勝ち。



▲ブック版「小栗かるた」

◆同時に制作したブック版『小栗かるた』はそのまま切り取れば「かるた」の絵札・読み札になり、表紙と裏表紙を切り取れば上下の箱となります。また時系列で並べた絵札と読み札の裏の解説で小栗上野介の生涯をたどれる読み物としても楽しめます。

◆価格 子供向けの特別価格としました
『かるた』1400円／『ブック版』1100円

新作能 「小栗」 上演

◆5月26日・小栗まつりで

制作／演能 清水義也 地謡：金子聰哉 清水義久
観世流能楽師清水義也氏は能「小栗」を制作し、小栗まつりでその一部ラストシーンを仕舞で奉納演能しました。♪「小栗の説きし新たなる國を 時を経たりて令和の御代に 繋つなぐことこそめでたけれ」♪

一と小栗公の追悼演能となっていて、全編を観たい、感激したという声が聞かれました。また義也氏の子息義久さん（中学生）の立ち姿が凛りんとしていてすごい、という感想が寄せられました。ご奉納ありがとうございました。

マザーマシンスチームハンマーは英國製 たつた

JR横須賀駅近くヴェルニー記念館に展示されているスチームハンマー2基（3トントンと0.5トントン）はハンマー基部の「ROTTERDAM 1865」という刻印から従来オランダム・ロッテルダム製と思われていた。しかし横須賀市毛利邦彦氏は、これは地名ではなく英國グラスゴーの「グレン＆ロス」社製で、輸出商社「ロッテルダム社」が日本へ販売したという意味、と突き止め、発表した。



▲スチームハンマー 平成7年撮影